

# 令和4年度 事業報告

東京都建設防災ボランティア協会は、都内に大規模な地震が発生した場合に、東京都建設局等に協力して公共土木施設等の被災情報の収集、応急復旧などの支援活動を行うことを目的として、東京都建設局、東京都道路整備保全公社及び東京都公園協会の協力・支援を得て、平成9年6月に発足し、26年目を迎えました。

平成11年度からは、大規模土砂災害の発生時に、東京都などに対し積極的に支援活動を行うために、砂防ボランティア制度を当協会内に併設しました。

また、平成15年度からは「東京都地域防災計画 震災編」及び「同 風水害編」において、当協会建設局に関連する災害ボランティア団体と位置付けられ、発災時の活動が期待されています。

令和3年度の新型コロナ感染状況は、1月から3月末にかけての第6波、7月から9月末にかけての第7波、11月からの第8波と厳しい対応が求められる状況が続きました。しかし、ワクチン接種率の増加などにより徐々に改善傾向がみられ、年末頃より様々な活動が徐々に再開される状況になってきました。

このような状況の中でしたが、令和3年度に引き続き、定期総会の開催を取り止め、会員各自に「事業計画」を郵送し書面による議決を図り、すべての案件に対し全員の承認を得て決定となりました。決定された「事業計画」に基づき、コロナ禍の中、次のような諸活動を行いました。

## I. 防災訓練

平成23年には東日本大震災、平成25年には伊豆大島において大規模な土砂災害が発生しました。これらの復旧・復興が鋭意行われている最中の平成27年9月には、関東東北豪雨による鬼怒川の決壊、平成28年4月には熊本地震、平成30年6月から7月にかけて西日本を中心とする台風7号及び集中豪雨、9月には北海道胆振東部地震の発生、令和元年9月に台風15号（令和元年房総半島台風）が上陸し記録的な強風により送電鉄塔の倒壊等により千葉県では大規模停電が発生、10月には台風19号（令和元年東日本台風）が上陸し記録的な大雨により、関東（多摩川流域・日原の崖崩壊他）・甲信（千曲川の決壊等）・東北（阿武隈川決壊等）各地方で広範囲に渡り河川の決壊・土砂災害が発生し、多くの尊い命が奪われています。また、令和2年7月には、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生し、特に熊本県（熊本豪雨）では球磨川水系の氾濫で多くの尊い命が奪われています。

令和3年2月13日には、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震があり、東日本大震災を思い出される大きな揺れが東京でも感じられました。令和3年には、7月に梅雨前線に伴う豪雨により熱海市伊豆山地区の逢初川で発生した土砂災害（盛土の違法投棄が原因とする損害賠償・行政責任に対し訴訟中）により26名が亡くなる甚大な災害が発生しました。10月には、千葉県北西部を震源とする震度5強の地震が発生し23区他で長周期地震動階級2が観測され、足立区内では、新交通日暮里舎人線が脱線するなどの被害が生じました。

令和4年1月には、トンガ大規模噴火津波により10県で船の沈没や養殖施設の損壊・魚の大量死など大きな被害が生じました。さらに、3月16日23時36分福島県沖を震源とするM7.4最大震度

6強の地震が発生し東北新幹線が脱線するなど大きな被害が発生しました。

令和4年度の総合防災訓練・初動対応訓練においては、こうした災害から得られた教訓を踏まえ、新型コロナウイルス感染状況により中止された訓練もありますが、それぞれの課題に対応した実践的な訓練が実施されました。

## 1. 東京都総合防災訓練

令和4年度の総合防災訓練は、東京都・品川区合同で9月3（土）に、「林試の森公園」と「小山台小学校」、4日（日）には「西大井広場公園」と「しながわ中央公園」の4会場に分かれて行われました。本訓練は、東日本大震災を踏まえた被害想定を10年ぶりに見直した「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」（令和4年5月）に基づき、想定される最大規模の被害を設定されたものとなりました。

統一のテーマは「狭隘地区を有する地元の特性を踏まえた訓練の実施による防災力の向上と、近年防災分野においても発展が進んでいるデジタル化（防災DX）を取り入れた訓練の実施でした。

協会では、局からの依頼を受け、二建班3名と東部公園・三建班から応援の2名が参加しました。

## 2. 建設局初動対応訓練

現在、局の災害対応体制を検討中であり、また、感染状況等も勘案し、令和4年度の実施は見送られた。

## II. 講習会・見学会等

防災時の活動に活かせるよう災害や防災に関する知識・情報を得るため、各種講習会や大規模事業等の現場見学会を計画しました。令和4年度は、3年ぶりに施設見学会などが実施されました。概要は、次のとおりです。

### 1. 普通救命講習会

令和2年度から、協会としての講習会は実施しておりません。

### 2. 施設見学会

令和4年度の施設見学会は、3年ぶりとなり、令和4年11月22日（火）に実施されました。

場所は、都市計画道路環状第5の1号線（千駄ヶ谷区間）です。12月3日の開業前でしたが、第二建設事務所の案内で実施され、協会員30名（先着希望枠30名として募集した）が参加しました。

新宿御苑内に群生しているヒノキ科落葉高木のラクウショウ（落羽松）対応により外回り線をトンネル構造に変更するなど、関係機関との協議による厳しい条件を克服し、地元の協力と、多くの関係者の努力により工事が完了しました。当日は、二建今宮所長・水内工事第一課長、さらに湯川道路建設部長の参加など現職の皆様からの大きな支援により見学会が開催できました。現職の皆様に、感謝申し上げます。

※事業期間平成2年～令和5年度・事業延長805m、幅員14～35m・事業費約755億円

### 3. 砂防講習会

砂防講習会は、協会で砂防ボランティアとして登録している会員を中心に、建設局河川部の協力を得て東京都の砂防対策や危険個所の実情・取組みなど、最新の状況を学ぶ機会として毎年実施しています。令和4年度は、令和5年3月に西建管内の海沢川砂防ダム及び河辺一丁目急傾斜地事業を見学しました。見学会に協力していただきました、西建の皆様には感謝いたします。

## Ⅲ. 建設局等の行事への参加・協力

災害時に備えて行う防災訓練のほか、常時の活動を通じて建設局と協会との連携を強め、また会員相互の連帯感・一体感を強化していく目的で、建設局が主催・共催している各種事業に積極的に参加しました。

### 1. 道路施設等点検

道路施設等点検は、道路本来の機能維持とバリアフリーという観点から多くの目で点検し、対策を講ずることを目的に、前期と後期の2回行われています。この業務は会員にとっても、日頃から管内道路事情を把握することにより発災時に役立つことが期待できることから、平成15年度後期より全建設事務所の点検業務に参加しています。また、平成26年度から道路管理部長名の協力依頼文を受け行っています。

令和4年度の前期は、区部・多摩含め11建設事務所で55名の会員が参加しました。後期は11月から令和5年2月にかけて前期と同じく区部・多摩含め11建設事務所で57名が参加しました。

### 2. 「河川愛護月間」行事等

新型コロナウイルス感染症対策により、都の主催行事はほぼすべての行事が中止となりました。

### 3. 勝どき橋ミニツアー

勝どき橋ミニツアーは、平成29年12月勝どき橋の補修工事で中断し、代替活動として「隅田川著名橋等ツアー」を2年間実施しました。工事の終了に伴い再開を準備した矢先に新型コロナウイルス感染が拡大し、中断されたまま3年が経過しました。この間、何度か再開を検討しましたが実施に至らず、ようやく行動制限もなくなったことから、昨年（令和4年）10月に年明けの、令和5年1月からの再開を決定しました。

再開にあたっては、1回の案内時間を60分から90分に増やすとともに、案内回数を1日4回から2回に減らし、1回あたりの案内人は5人から10人程度に増やしました。これに伴いミニツアーガイドも再改定しました。また、5年ぶりの再開で、案内方法も変わり、新規案内者も多くなったことから、案内者全員を対象に研修会を実施しました。これらの準備を重ねたうえで、令和5年1月12日（木）に再開されました。再開を待ち望んでおられたお客様も多くみられ、新たに購入したスマートフォンを操作し、1日2回のミニツアーガイドが順調にスタートしました。

#### 4. 「東京 橋と土木展」と「土木コレクション」

3年ぶりに復活開催されました。

令和4年11月22日（火）～25日（金）の4日間、「新宿駅西口広場イベントコーナー」で開催され、10名の会員が参加しました。新型コロナの影響で、前回に比べて規模は小さくなりましたが、橋梁以外の展示として、河川事業や公園事業も追加され、隅田川橋梁のライトアップ、日野橋の応急復旧と架け替え、白子川調節池、小石川後楽園など、模型や写真パネルを駆使し、分かりやすく充実した展示内容でした。特に、道路管理部保全課の職員が撮影した隅田川橋梁のライトアップの写真は、プロ級の作品であり、今後、様々な機会に活用できるものと思います。

### IV. その他協会業務等

#### 1. 会員の被服等購入助成

協会ではボランティア活動を安全・円滑に行うため、統一的な被服（帽子、ブルゾン、ズボン、ヘルメット、防寒服）を整えるべく、購入を希望する会員に「防災携行品特別会計」から助成を行っています。令和3年度は新規会員等5名にブルゾン等の購入・助成を行いました。

#### 2. 協会ニュースの発行とホームページの公開

協会の活動状況を逐次会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図る目的で「建設防災ボランティアニュース」を年間4号発行しています。

令和4年度はコロナ禍にともない協会活動が大幅に縮小されたため、4回発行する予定が、令和4年10月の第78号と令和5年1月の第79号の2回の発行にとどまりました。紙面は協会の活動に参加された会員の活動報告や投稿をいただいた記事で構成しています。

発行したニュースは、会員をはじめ、会の運営に理解と協力を頂いている建設局の関係部及び各事務所、並びに東京都道路整備保全公社、東京都公園協会にお届けしています。

また、協会活動の会員への速報性と、活動のデータ保存を兼ねて開設している当協会のホームページ「東京都建設防災ボランティア協会掲示板」(<http://tokyo-adv2.info/>)を、今年度も逐次更新しながら公開してきました。また、建設局総務課広報担当の支援を得て、今年度も「けんせつ局報」の4月号から毎号を当ホームページに掲載し、会員が常時閲覧できるように致しました。

#### 3. 建設局幹部との交流会

平成23年から行われている建設局主催の東京都建設防災ボランティア協会に対する「感謝の会」ですが、令和4年11月に総務部総務課より新型コロナウイルス感染症を鑑み、昨年度に引き続き、開催を見合わせるとの連絡がありました。

なお、上記活動内容の詳細は別表のとおりです。

## 具体的な活動経過

時 期	項 目	内 容
R4 . 4 . 6	4年度 第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入会会員の紹介</li> <li>・事業計画内容の確認 総会開催について</li> </ul>
R4 . 5 . 25	第1回 砂防ボランティア 全国連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防会館別館 6階「六甲」</li> </ul>
R4 . 5 . 27	第26回 定期総会 に代わる 議決書の送付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年度 事業報告 収支決算報告</li> <li>・4年度 事業計画（案） 収支予算（案）</li> <li>・4年度 リーダー指名 その他</li> </ul>
R4 . 6 . 1	第23回砂防ボランティア全国 の集い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県田辺市 紀南文化会館4階「小ホール」</li> </ul>
R4 . 6～8月	道路施設等点検（前期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11建設事務所（全事務所）の点検業務を 支援、延べ55名参加</li> </ul>
R4 . 6 . 10	4年度 第2回 理事会及び リーダー会合同会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回理事会の開催時期の検討</li> <li>・今年度の活動内容説明等</li> </ul>
R4 . 7 . 1～	河川愛護月間行事支援参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策により中止</li> <li>・東京の川を考えるシンポジウムは開催</li> </ul>
R4 . 9 . 3～4	東京都・品川区合同 総合防災訓練（震災対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/3 展示・体験訓練</li> <li>・9/4 救出・救助等訓練</li> </ul>
R4 . 11月～ R5 . 2月	道路施設等点検（後期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11建設事務所（全事務所）の点検業務を 支援、延べ112名参加</li> </ul>
R4 . 11 . 14.	第2回 砂防ボランティア 全国連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防会館別館 3階「六甲」</li> </ul>
R4 . 11 . 22	施設見学会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環状5の1号線（千駄ヶ谷）</li> </ul>
R4 . 11 . 22 ～25	東京 橋と土木展 土木コレクション ・場所：新宿駅西口広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設局の事業・施設・土木のPR</li> <li>・土木学会より流域治水関連資料等を展示</li> </ul>
R4 . 12 . 1	4年度 第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝どき橋橋脚ミニツアーの再開について</li> <li>・施設見学会の開催結果 他の報告</li> </ul>

時 期	項 目	内 容
R5. 1. 12	勝どき橋橋脚ミニツアー再開	
R5. 1. 20	建設局主催「感謝の会」の開催	新型コロナウイルス感染症対策により中止
R5. 2.	建設局初動対応訓練	新型コロナウイルス感染症対策により中止
R5. 2.	防災講習会の開催	新型コロナウイルス感染症対策により中止
R5. 3. 9.	砂防講習会の開催	・西建管内の海沢川砂防ダム及び河辺一丁目急傾斜地事業の現場見学
R5. 3. 14	4年度 第4回 理事会	・新規会員の紹介 ・道路施設等点検結果の報告 他
R5. 3.	会員登録事務	・全会員あて登録継続の有無について調査
R5. 3.	ボランティア保険継続加入	・継続登録会員の保険料払込

## 道路施設等点検参加一覧表

事 務 所	前期実施日	参加協会員	後期実施日	参加協会員
一建	6/28、7/25	2名	1/19	2名
二建	7/11～7/26	6名	R4.12/7～R5.1/16	5名
三建	7/24,8/10	2名	1/17	1名
四建	6/21,6/29,7/7, 7/14,7/14	7名	R4.11/1～12/16	8名
五建	7/25～29	5名	R4.12/12～R5.1/31	5名
六建	6/24,7/1	3名	R5.1/13、1/23 2/6	3名
西建	6/21～7/21	4名	1/10～2/10	5名
南東建	7/27	9名	12/14	10名
南西建	6/30,7/20	9名	1/23	10名
北南建	6/30,7/6,7/11	3名	11/29,12/12,12/23	3名
北北建	6/17	5名	12/13	5名
計		55名		57名

※前期時期 6/10～8/10

※後期時期 11/14～2/28